

令和7年度 寺子屋まつだの活動紹介

生涯学習センターで実施している今年度の寺子屋まつだの活動の一部をご紹介します。
月2回、土曜にさまざまな分野の活動を展開して、みんなで楽しく過ごしています。

生涯学習だより

問 生涯学習推進課 生涯学習係
☎(83)7021



スーパーキッズクラブ

イベントでの出店や奉仕活動、今年度は歴史探索したことを松田サミット(10月26日)で発表しました。



ペン習字

お手本を見ながら、気持ちを込めて1文字1文字書いています。



茶道

心構えやお作法を学びながら、お茶の楽しさを学んでいます。



ヒップホップダンス

振り付けを覚えて、みんなでダンスをします。文化祭やイベントでも発表をしています。



英語で遊ぼう

仲間と一緒にゲームや遊びなどをおして、楽しく英語を学びます。



コーラス&楽器

仲間と練習し、心を合わせて歌います。今年度は「マイ バラード」「栄光の架け橋」で文化祭にも参加しました。

松田 文化財探訪

My 二宮尊徳翁小伝 その8

文化財保護委員 草門 隆

「12の重要キーワード」(4)

⑨ 心田開発とは

新田開発は字の如くですが、この心田とはまず人を大事にすることから「農民の心の田を耕さねばならない」と考え、働く意義や個々人のやる気を高めるべく意識改革を考え取り組んでいます。

⑩ 無利息金制度とは

江戸時代の米作り社会から貨幣経済への移行に伴い、高利の借財に苦しむ農民救済のために「無利息で分割返済してもらおうがその際一カ月分を冥加金(お礼)として返済してもらう」という斬新なやり方を考案し、その礼金を報徳融資制度の原資としています。

「借りて喜び、返しても喜ぶ」という心理は皆に受け入れられ、各地に連鎖し、この制度が広域展開し、多くの人々の救済に繋がりました。

⑪ 芋こじとは

語源は「里芋を樽の中で、



二宮尊徳 画像(報徳博物館提供)

ゴシゴシ洗う」こと。村民たちが物を言える雰囲気作りを封建社会の中で考え行ったことは今のブレインストーミングのようなものでしょう。「芋こじ」の延長線上のこととして、この時代に戸主(翁は女性も戸主とする)たちによる投票(入札)で出精奇特人(働き者)を互選させ表彰する制度を導入し、金・銀・鎌など褒美としていきます。封建制度の時代に、このような民主的な「表彰投票法」は、村民達の参画意識ややる気を意図したものと考えられ、この発想には驚きます。次回は最後の「経済道徳一元」です。